

令和7年度 境町総合防災訓練の概要



総合防災訓練実行委員会事務局

1 目 次

- ① 前提事項：境町の災害環境と最大リスク
- ② 実行委員会組織
- ③ 令和7年度 境町総合防災訓練の概要と方向性
- ④ 広域避難訓練における避難先の指定
- ⑤ 会議の予定

① 前提事項：境町の災害環境と最大リスク

- 1 境町における近年の災害対応
- 2 境町の最大災害リスク = 利根川の氾濫
- 3 防災上の取組の焦点

1 境町における近年の災害対応

2011 東日本大震災



最大震度
5強



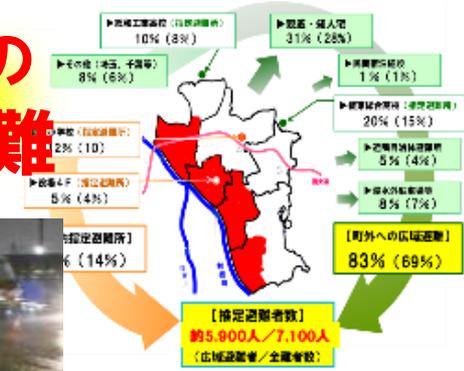
2015 関東・東北豪雨

大規模
内水氾濫



2019 東日本台風

全国初の
広域避難



被害状況			
災害区分	プレート型地震		
人的被害	なし		
倒壊家屋	なし		
一部損壊	瓦落下	807軒	1,174軒
	塀損壊	103軒	
	壁損壊	225軒	
	その他	39軒	
ライフライン	停電：6,200戸 断水：42戸		

被害状況			
災害区分	内水氾濫		
人的被害	1名死亡		
避難対象	637世帯 1,600名		
避難者数	76名		
浸水	床上	246軒	493軒
	床下	247軒	
水没車数	300台		
災廃棄物	851 t		

被害状況			
災害区分	外水氾濫 (未発生)		
人的被害	怪我1名 (右足骨折)		
避難対象	全世帯 約24,000名		
避難者数	約7,100名		
	▶広域避難：約6,500名 ▶自主避難：約3,500名		
浸水	床上	4軒	78軒
	床下	74軒	
水没車数	4台		

《参考》 関東・東北豪雨：大規模内水氾濫

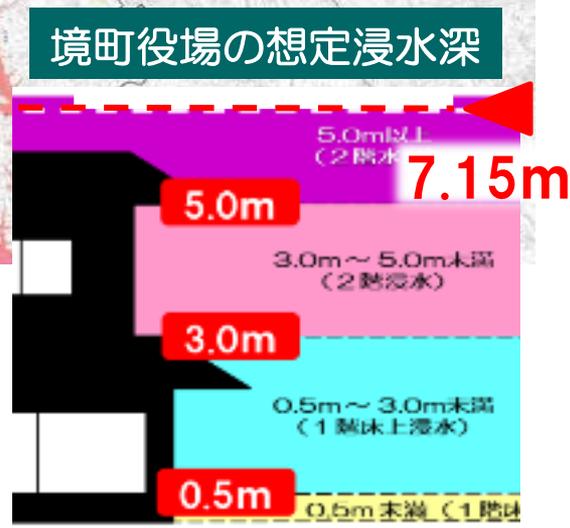
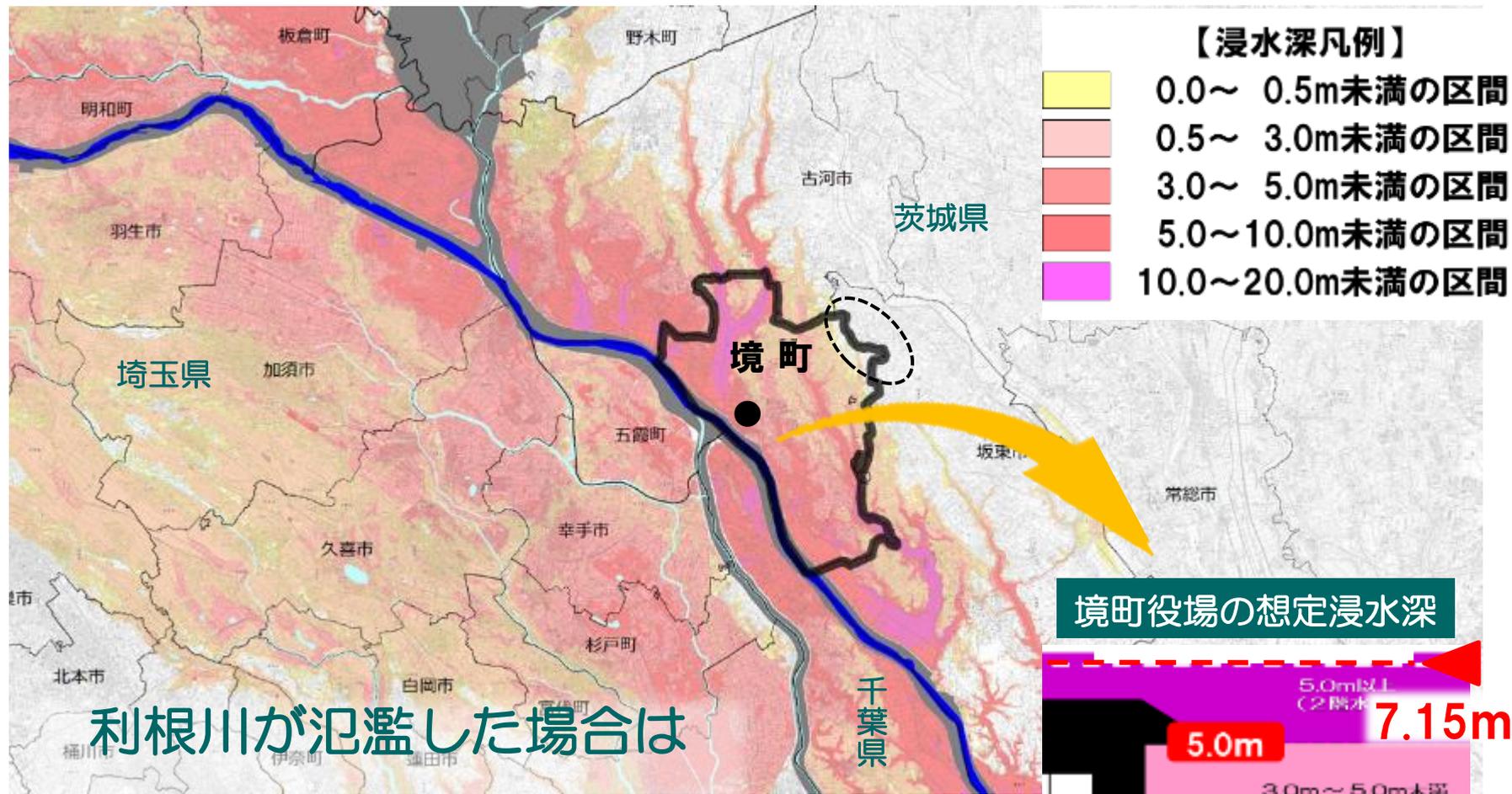


《参考》東日本台風：広域避難の状況



2 境町の最大災害リスク＝利根川の氾濫

《利根川最大想定浸水深（L2）》



利根川が氾濫した場合は

町の **95%** 以上が浸水域

1都5県74区市町に影響 = 国難級の災害

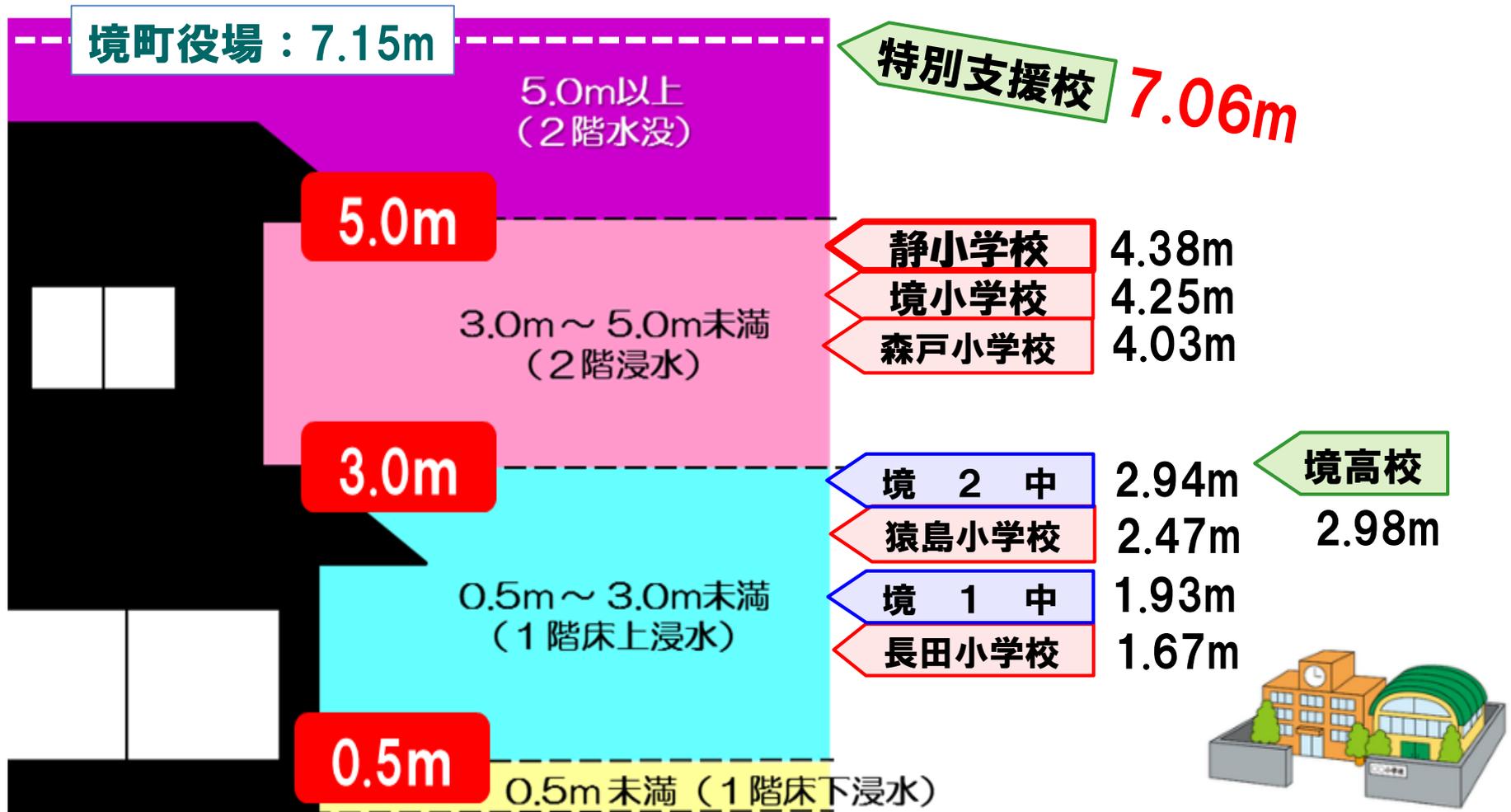
《参考》利根川氾濫時の避難所の状況（小中高の場合）

- 各小・中・高校 9箇所
- 町の公共施設 7箇所
- 行政区の公民館など 47箇所

計64箇所



全て水没



《参考》利根川氾濫流と到達時間の目安

境町は、上流及び下流のいずれで決壊しても甚大な被害が発生します。

決壊場所

上流：古河市（利根川・渡良瀬川合流付近）で決壊した場合



氾濫流の到達は、総和工業高校・長田小学校へは**5時間～9時間**

下流：坂東市（利根川・鵜戸川合流付近）で決壊した場合



決壊場所

《参考》 国の利根川氾濫シミュレーション：人的被害想定

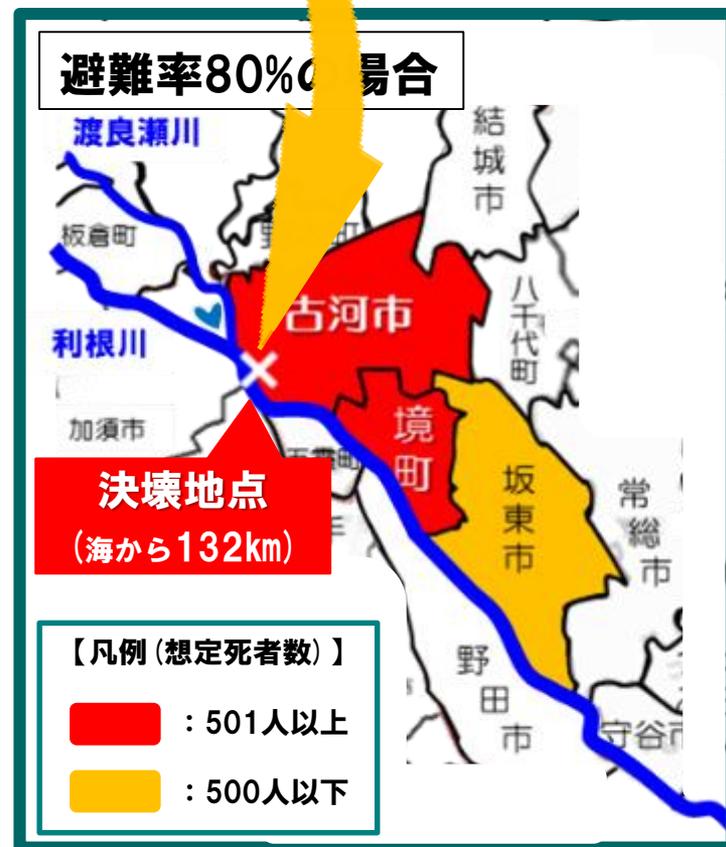
1回／1,000年の水害を想定（利根川左岸**132km**付近（※）で堤防が決壊した場合

※：被害が一番大きいと言われる地点

800人が犠牲に

■ ポンプ運転 有 ■ 水門操作 有
 ■ 燃料補給 有 ■ 排水ポンプ車 有

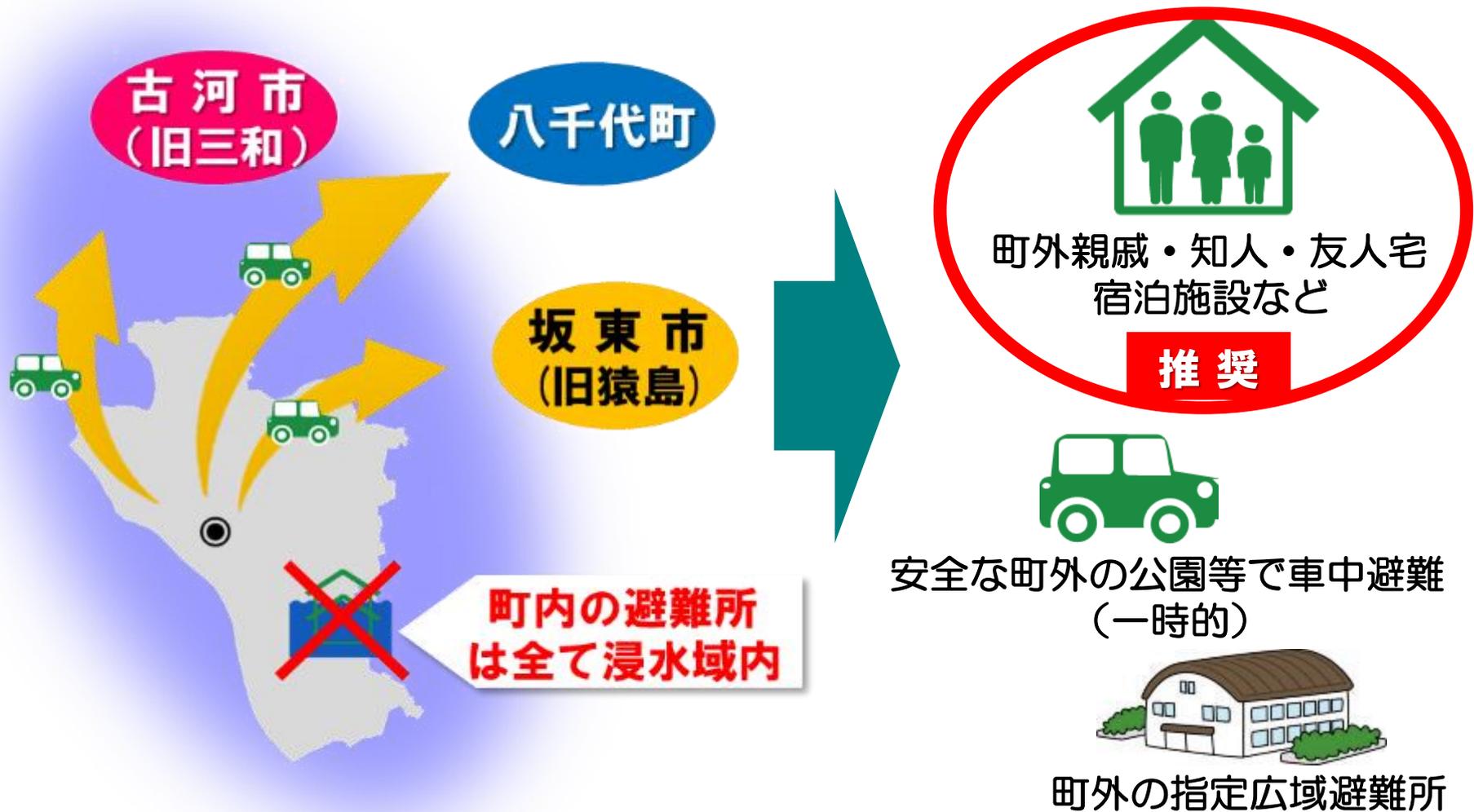
避難率40%の場合	避難率80%の場合
死者：約 6,500 人	死者：約 2,200 人
① 境 町：2,400人	① 境 町：800人
② 古河市：2,400人	② 古河市：800人
③ 坂東市：1,500人	③ 坂東市：500人
その他：200人	その他：50人



3 防災上の取組の焦点

犠牲者「ゼロ」 = 利根川の氾濫への対応

町外への避難 = 「**広域避難**」を重点として整備



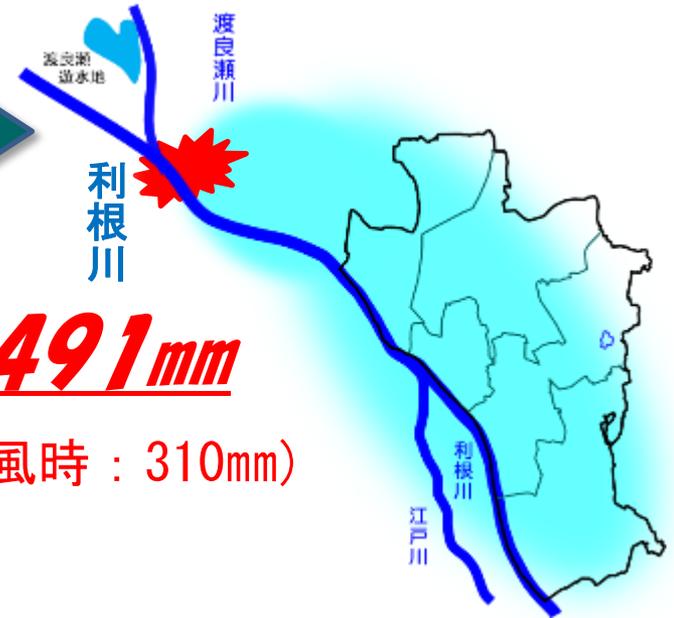
《参考》利根川氾濫以外で広域避難を要する災害

1 利根川の氾濫

想定雨量：八斗島（群馬県）上流域

72時間の総雨量 **491mm**

(参考：R1東日本台風時：310mm)



2 渡良瀬川の氾濫

想定雨量：高津戸（群馬県）上流域

72時間の総雨量 **812mm**

② 実行委員会組織

令和7年度 境町総合防災訓練実行委員会組織

境町総合防災訓練	
境町長	

境町総合防災訓練実行委員会	
委員長	副町長
副委員長	区長会会長
役割	実行委員会の統括

防災アドバイザー	
片田 特任教授	
役割	1 防災訓練に対する助言・指導 2 防災訓練に関する評価等

相談役	
区長会顧問	
役割	1 防災訓練に対する意見提出 2 区長会に対する助言・指導

事務局		
長	危機管理部長	副 防災安全課長
副	危機管理監、危機管理専門監	
役割	1 企画・計画の作成支援 2 関係機関・団体との連絡調整 3 会議資料の作成 4 訓練経費関連事項 5 訓練の進行・統制補佐	

実行委員	
境町区長会役員	
役割	1 訓練に関する各行政区の意見取り纏め・意見提出 2 各行政区へ訓練内容の周知 3 自主防災組織の編成の促進 4 各行政区住民の防災訓練への参加促進及び訓練統制

協力・支援機団体等(案)	
機関等	<ul style="list-style-type: none"> ・広域避難所(町外公立3校) ・防災士の会 ・TEPCO ・民生委員、境町社協、常陸 ・県バス協会貸切バス県西支部
役割	1 訓練に関する連絡調整 2 訓練に関する意見提出 3 訓練の支援及び協力 4 教訓・反映事項意見提出

実行委員(役場)	
委員	各部長等(各対策部長)
役割	1 訓練に関する各部の統制及び訓練内容の周知 2 訓練に関する各部の意見提出 3 部関連準備事項の統制 4 防災訓練参加職員の役割等の付与・統制 5 各部訓練成果の取り纏め

訓練参加組織(自主防災組織)	
長	各行政区長
役割	1 訓練に関する意見・要望等の実行委員会への提出 2 住民への訓練内容の周知 3 住民の防災訓練への参加促進及び訓練への参加

関係機関(※)	
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・境警察署 ・境町消防団 ・坂東消防署境分署 ・古河自衛隊 ・利根川上流河川道事務所
役割	1 訓練に関する連絡調整 2 訓練に関する各関係機関の意見の取り纏め・提出 3 関係機関参加者の統制 4 訓練成果(教訓・反映事項)意見の提出

※：町外訓練場所を所轄する警察等へ協力を依頼

③ 令和7年度 境町総合防災訓練の概要と方向性

- **本年度の総合防災訓練の特性**
- **全 般**
- **実施時程**
- **災害対策本部会議の方向性**
- **災害情報伝達訓練の概要**
- **広域避難訓練の概要**
- **展示・体験訓練の概要**

本年度の総合防災訓練の特性

1 2015 関東・東北豪雨災害から10年目

メモリアルパネル展示を計画

2 災害対策本部会議訓練

ドローンによる河川情報を配信（ACSLとの連携）

3 広域避難訓練

境町初の広域指定避難所 **3校同時避難**

4 展示・体験訓練

① 避難訓練終了後、**境町文化村**に集まり実施

② **降雨体験車、災害体験VR器材**の体験（当選）

③ **ミネラルイオントイレ、東電プランニング
電気自動車等**の展示

全 般

1 訓練の目的

令和6年度の成果を踏まえ、利根川氾濫による大規模水害における広域避難訓練を主とした総合防災訓練により**災害対応能力の向上を図り、災害犠牲者「ゼロ」を目指す。**

2 時 期

令和7年6月29日（日） 8時～12時

（予備なし）

3 場 所

境町役場、境町文化村及び広域避難所

→ 総和工業高校、坂東総合高校跡地、八千代高校

4 主催者等

(1) 主 催 者： 境町長

(2) 実行委員会： 実行委員長を副町長、副実行委員長を**境町区長**
会会長として、**役場及び区長会の役員を主体**として編成

5 訓練内容等

(1) 訓練場面（訓練想定）

利根川氾濫の危険性に伴う町外への広域避難

(2) 災害対策本部会議 : **ドローン情報配信（ACSLとの連携）**

(3) 広域避難訓練

- 災害情報伝達訓練 : **防災アプリ等の避難情報の配信**
- 避難訓練 : **3箇所同時広域避難検証**
要配慮者に対するバス輸送支援
- 避難所の開設・運営訓練 : **防災アプリの受付集計機能の検証**

(4) 展示・体験訓練

消防、自衛隊、警察、国土交通省、企業等による装備品、パネル展示（**新たな機材、関東・東北豪雨記念パネル等展示**）

(5) 自衛隊、消防団、職員合同の炊出訓練等

→ 避難訓練参加者に**昼食を配食**

実施時程

08:00～ 《災害対策本部会議》（対象：役場、関係機関等）

《広域避難訓練（避難、情報伝達、避難所の運営）》（対象：全住民）

08:30～ 境町全域に警戒レベル3「高齢者等避難」を発令

- ▶ 情報伝達訓練
- ▶ 高齢者等避難開始、要配慮者等バス輸送支援：避難所の受入
- ▶ 一般住民自主避難：避難所の受入

09:15～ 境町全域に警戒レベル4「避難指示」を発令

- ▶ 情報伝達訓練
- ▶ ここまでには全員避難：避難所の受入

10:30頃 広域避難訓練終了式（開始時間は避難状況による。）

《展示・体験訓練》（対象：避難訓練参加者）

10:45頃 ～

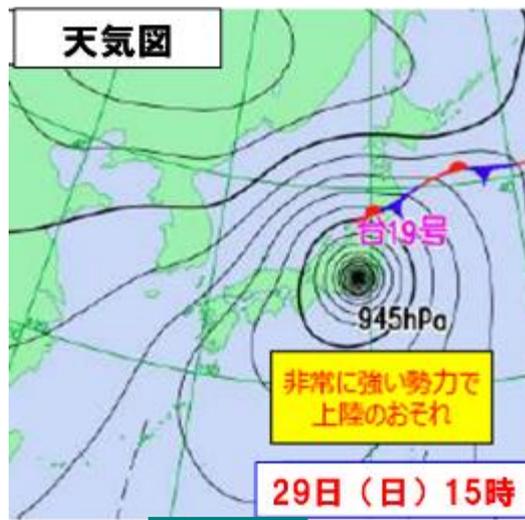
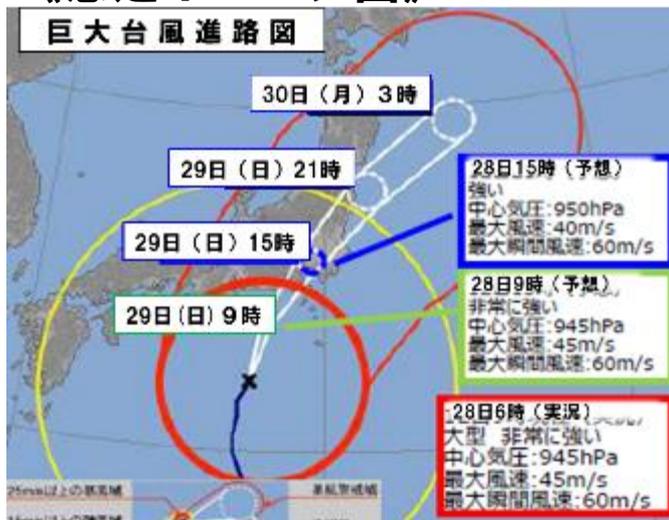
12:00 総合防災訓練終了・解散

（参加者には、炊き出し訓練で作成した昼食を準備）

災害対策本部会議の方向性：訓練想定

巨大台風接近に伴う利根川氾濫の可能性を踏まえ、境町災害対策本部長である町長は災害対策本部会議において広域避難を決心し、**境町全域に「高齢者等避難」、「避難指示」を発令した。**

《想定イメージ図》



ドローンによる
リアル河川情報

令和元年 東日本台風のイメージ

本年度は、災害対策本部会議を実施するため、想定等については、**今後、ACSL、利根川上流河川事務所等と連携し具体化してまいります。**

災害対策本部会議の方向性

1 役場職員（各対策部長以上、事務局）及び関係機関を対象として実施

2 前提事項

▶ 訓練想定に基づき実施（関係機関と調整し、今後具体化）

- ① 利根川氾濫の可能性から、既に利根川中流4県境広域避難協議会による共同検討が開催され、左岸流域自治体は広域避難体制に移行
- ② 町長の指示により広域避難所3校と事前に開設済み
- ③ 利根川氾濫の危険性の高まりから災害対策本部を開催し広域避難の要否について検討
- ④ 茨城県西地区では幸い雨が少なく避難行動への影響が少ない状況

3 会議開始の態勢

▶ 会議場所は今後検討（役場、さかいR&Dセンター等）

▶ 災害対策本部各対策部長、警察、自衛隊、消防団・消防署等関係機関を招集、なお、一部の機関（利根川上流河川事務所、ACSL）の参加（リエゾン、WEB）を依頼（調整により今後具体化）

→ 時期的妥当性を踏まえ参加要領を検討し、实际的に設定

災害情報伝達訓練の概要

役場から **2回、広域避難の避難情報を発令** します。

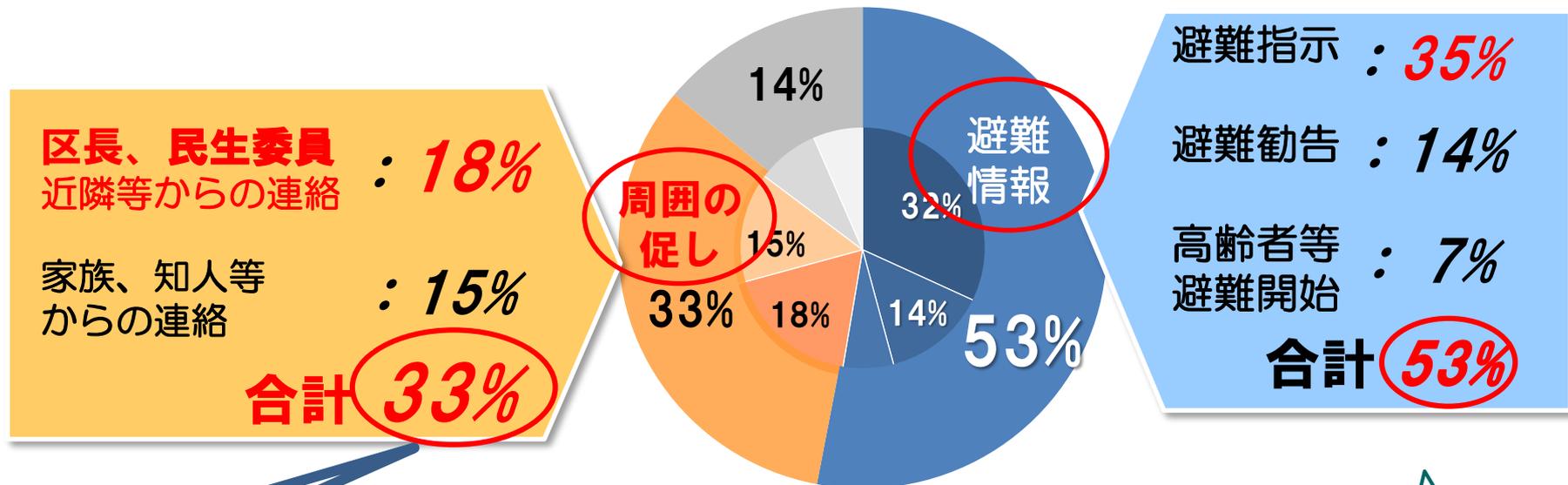
町からの「**避難情報**」発令は、次の**4つの手段**により情報伝達されます。

- 1 **防災アプリ**による情報配信
- 2 **防災行政無線**（戸別受信機、屋外子局）
- 3 **自主防災組織**による**電話連絡**や**避難の声掛け**
- 4 **消防団の消防車**による**避難広報**

- 1 行政区の**緊急連絡網**による**災害情報の伝達**
- 2 民生委員児童委員、福祉部等と連携し、平素の**見守り対象者、避難行動要支援者名簿対象の要配慮者**へ**直接電話・声掛け**をお願いします。

《参考》避難情報発令時の電話・声掛けによる効果

Q：避難決心のトリガー（※）



区長、民生委員 : 18%
 近隣等からの連絡
 家族、知人等 : 15%
 からの連絡
合計 33%

周囲の促し
 15%
 18%
 33%

避難情報
 32%
 14%
53%

避難指示 : 35%
 避難勧告 : 14%
 高齢者等 : 7%
 避難開始
合計 53%

周囲からの促し
 電話連絡による
直接の呼びかけは有効！



半数以上が避難情報
 で避難を決心


避難者集中の要因

※：東日本台風時の住民アンケート結果の例

《参考》避難情報の種類

水害が発生しそうなとき、町から次の**3つの避難情報が発令**されます。

警戒レベル3 高齢者等避難

避難に時間のかかる**高齢者等要配慮者**は避難一般の避難者も早めの自主避難が望ましい

警戒レベル4 避難指示

対象地域の**全町民を対象**に発令

避難開始ではなく、**ここまで**に避難を完了することが望ましい。

警戒レベル5 緊急安全確保

この段階では逃げ遅れです。**今できる最善**を尽して下さい。

今回の訓練で発令

避難行動

高齢者等

全町民

発災してるかも・・・

《参考》報伝達訓練イメージ：高齢者等避難、避難指示

高齢者等避難開始を発令
しました～



防災行政無線



災害対策本部（境町役場）



電話（総務班）

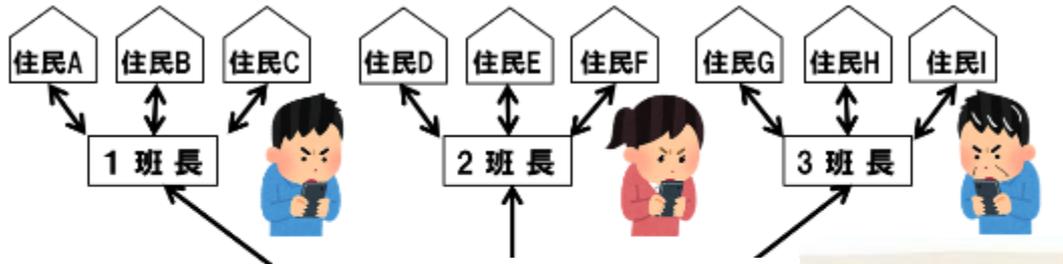


新防災アプリ



消防団による避難広報

町民全員への伝達を完了



要配慮者の伝達終わり



要配慮者への伝達

区長



要配慮者への伝達



町から「避難情報」
が発令されました。避難できる人は
早めに避難して下さい。



情報伝達手段 1 : 防災アプリ「New Sakainfo (ニューさかいんふお)」



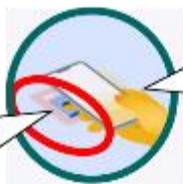
災害時、町からの「**災害情報**」「**避難情報**」や
町からの「**お知らせ**」を配信



マイナンバーカードを利用し、スマホにアプリをダウンロード



1 マイナンバーカード

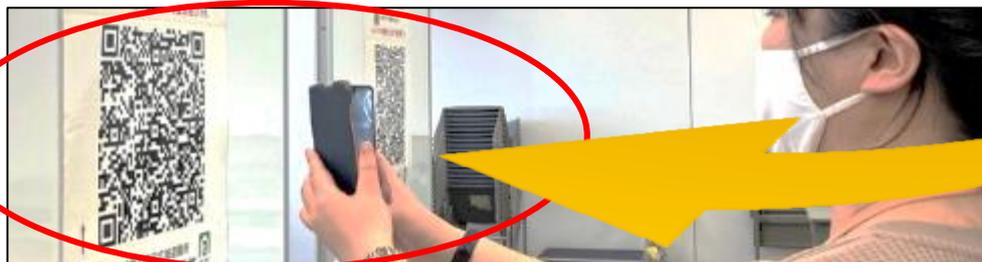


2 スマホで読みとり



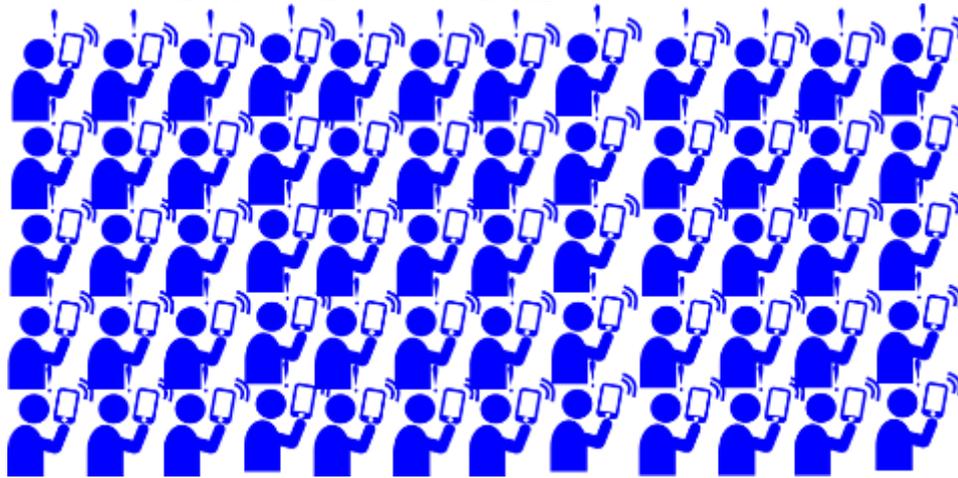
3 登録おわり

避難所の受付もQRコードを読み取るだけで簡単！



情報伝達手段2：各行政区の緊急連絡網

区長が全員に確認する

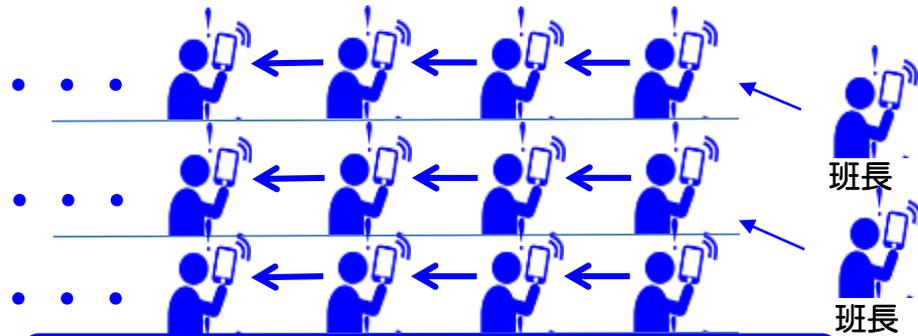


126世帯 / 1人
約2時間

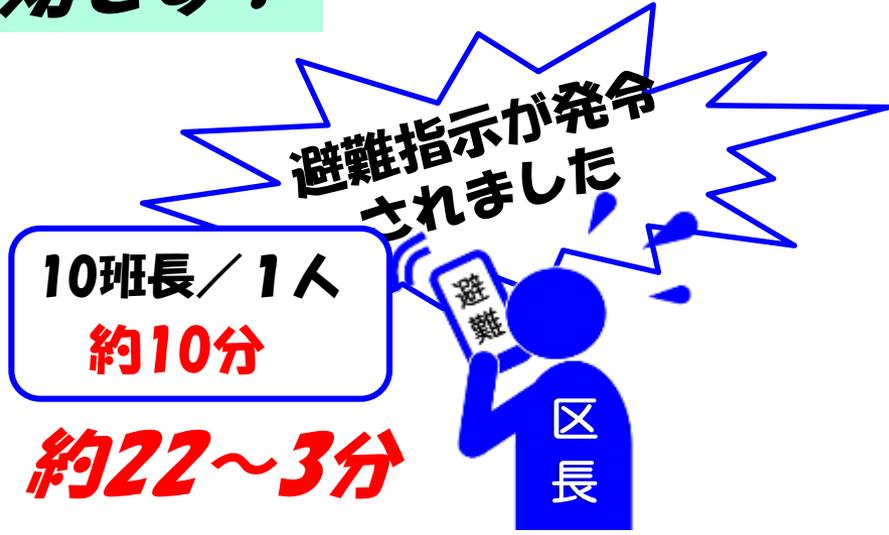


LINEも有効です!

回覧板を回す順番で伝達する



12~3世帯 / 1人 = **約12~3分**



誰が誰に連絡・確認するか決めておく → これも**自主防災活動**の一つ

行政区において犠牲者を出さない！

ように**確実な情報の伝達**、**要配慮者への声掛け**や**支援等**の役割を決めておくことが

自主防災活動では重要です！

高齢者等避難が出てます！
逃げましょう！



一緒に避難所へ避難
しましょう



避難用のバス
お願いします



大丈夫？

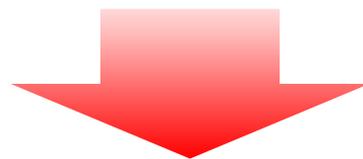


広域避難訓練の概要

「避難情報」発令後、**本来は自主的な広域避難先**

（親戚、友人知人宅等自らの町外避難先へ直接避難）を推奨

していますが・・



本訓練においては広域避難所へ車で避難し、

「避難所とはどんなところか」を確認してみましょう。



町外の指定広域避難所

町外広域避難所は **3箇所** です！

2017年10月24日覚書

総和工業高校



2021年6月21日覚書

八千代高校



2016年6月17日覚書

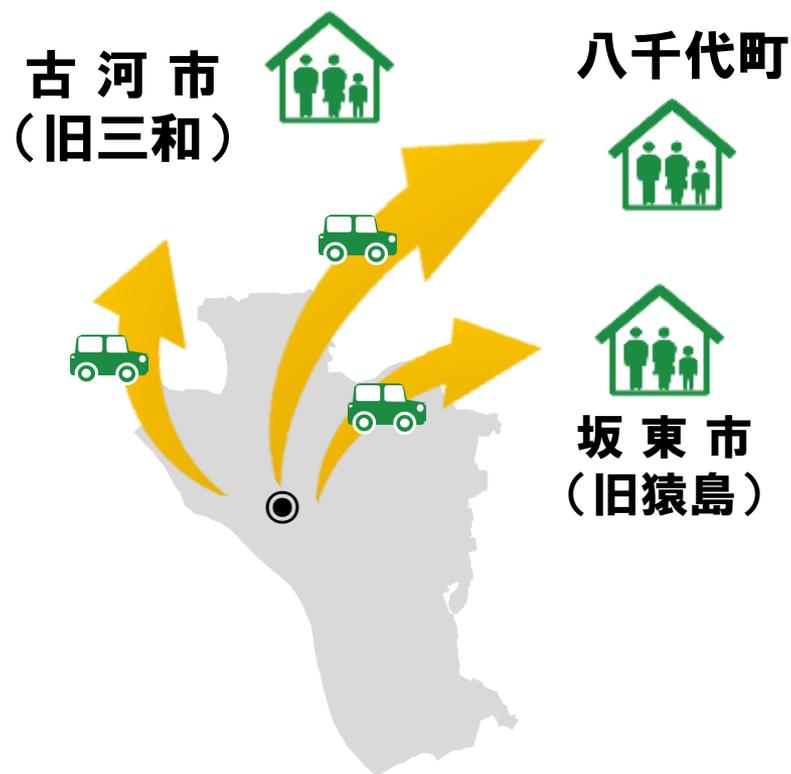
元坂東総合高校



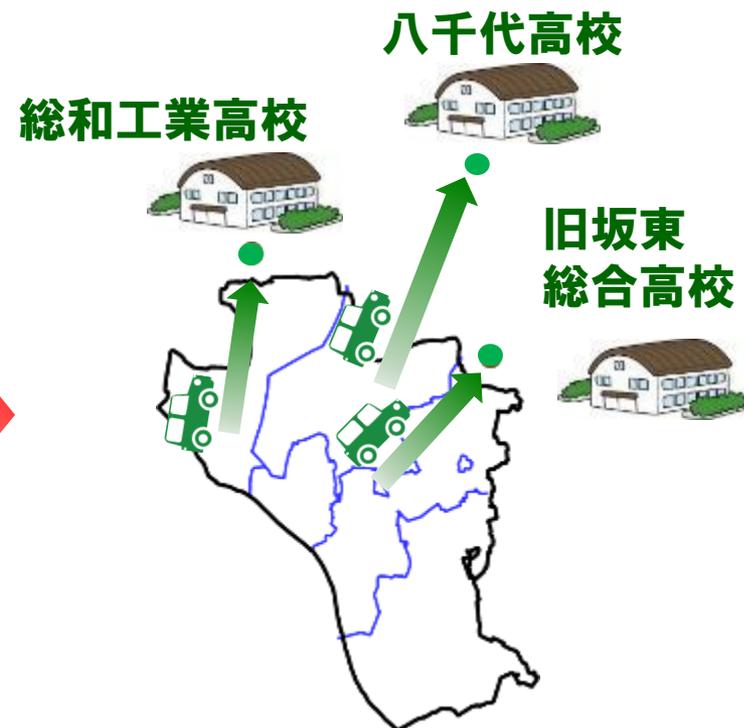
広域避難訓練のイメージ ①

避難情報を受け「**広域避難**」しましょう。

本来は**自主的広域避難**が望ましい



今回の**広域避難訓練**



本年度は、**3校同時避難訓練**を実施します。

総和工業高等学校の避難施設・駐車場配置図



元坂東総合高等学校の避難施設・駐車場配置図



八千代高等学校の避難施設・駐車場配置図



《通用門の統制》

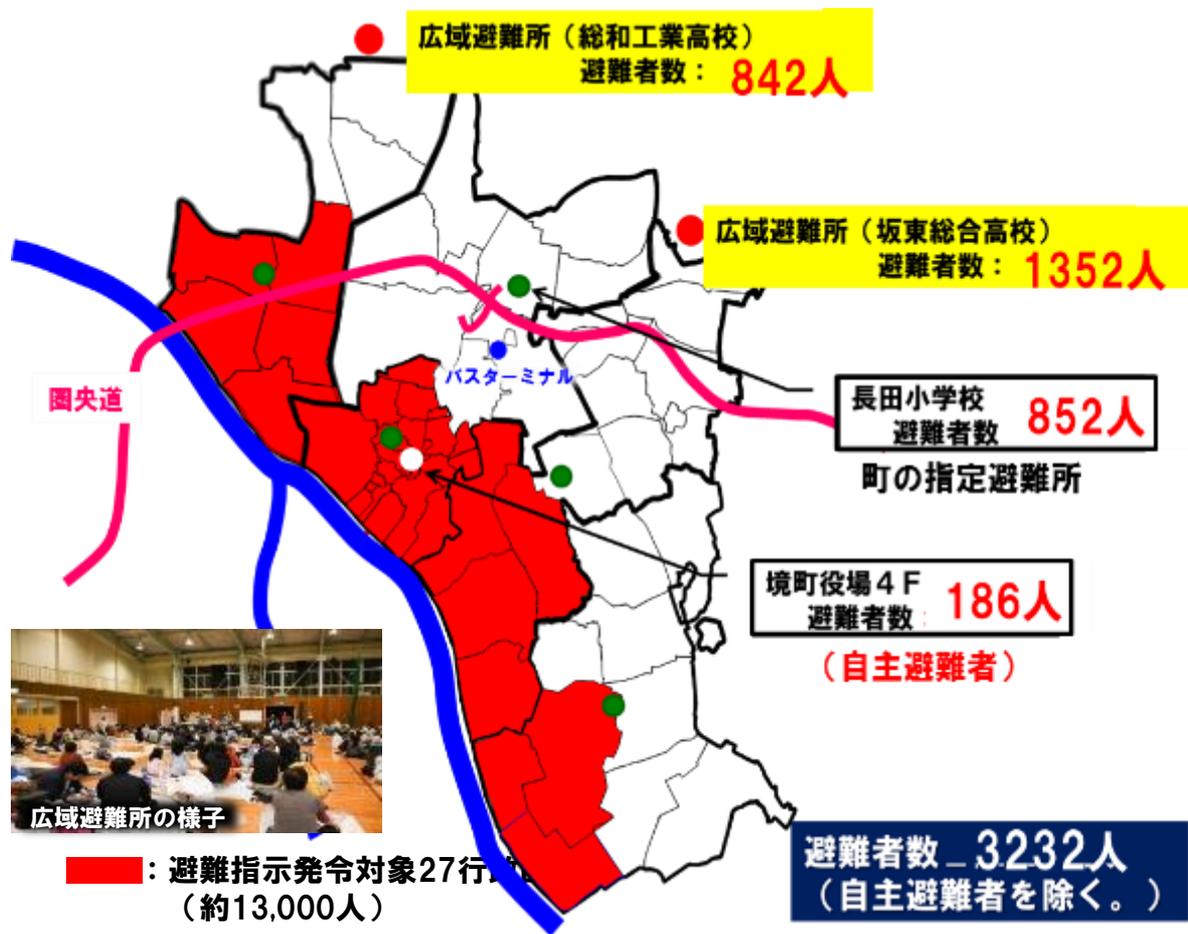
- 1 一般避難者及びバスの入門は東門、出門は正門
- 2 バスの経路は東門からサッカー場北側経由で体育館前

入口（一般避難者）：東門

【凡 例】

- : 避難施設
- : 駐車場
- : 駐車場（予備）
- ① ~ ③ : 駐車誘導の優先順
- : 車両経路（進入）
- : 車両経路（退去）
- : バス経路
- ♂
♀ : トイレ

《参考》東日本台風における避難実績（避難者名簿）



広域避難所に約2,200人が避難

《参考》令和元年 総和工業高校の使用実績



体育館：避難者最大約

842名

【凡 例】

-  : 当初の使用調整施設
-  : 実際の使用施設
-  : 実際の使用駐車場



**実習棟等避難者
約400名**

体育館：避難者約800名

校舎会議室・物理室：避難者約100名

【学校提供受備蓄品】

区分	数	内 訳
飲料 水	270本	6本入45箱
乾 パ ン	1050食	50食セット21箱
手指消毒剤	20本	400ml
ウエットティッシュ	30袋	100枚入

避難者最大1,352名

【凡 例】

- 当初の使用調整施設
- : 実際の使用施設
- : 使用駐車場

要配慮者のバス避難支援の概要

避難行動要支援者を主対象にバス輸送支援を実施します。



実際にバス避難支援（介助を含む）が必要な方が対象です。



避難所における下車支援

- ① 各行政区の要配慮者の内、親族等避難支援を受け
ける人がいない方及び支援のため実際に付き添う方
- ② 社会福祉施設等入居者・職員（利根老人ホーム等）
- ③ 車等の移動手段がなく自らの避難先がない方

注意

訓練は・・・
対象者の体調
を考慮し参加を
相談して下さい



バスターミナルへ集結



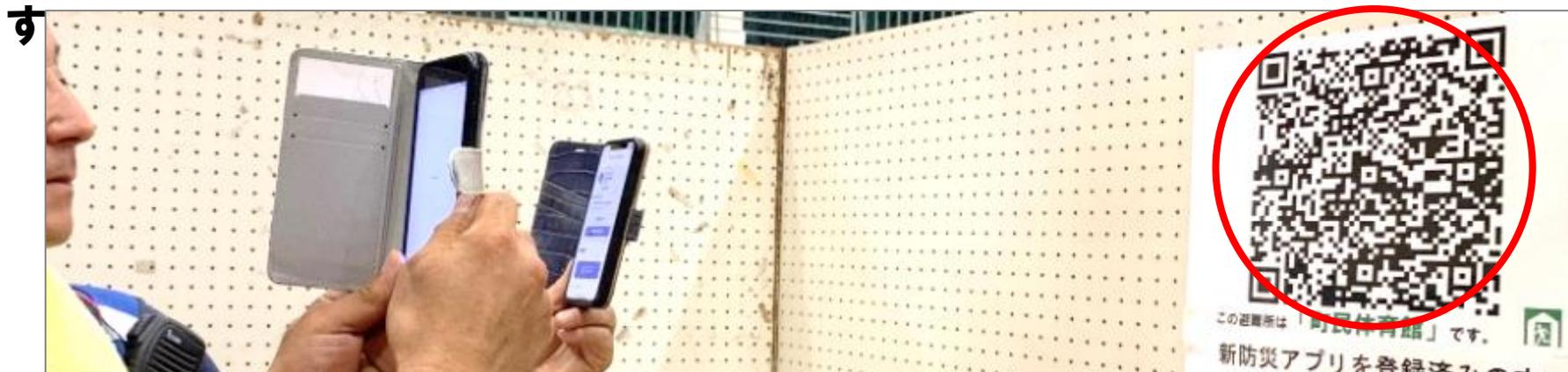
各行政区長との調整先へお迎え



避難所へ輸送支援

避難所の受付要領（イメージ）

各避難所ごと**防災アプリ**による受付**等3つの要領**で実施しま



1 QRコードによる読み込み



3 避難者名簿への手書き



2 マイナンバーカードの読み込み

⑦ 展示・体験訓練の概要

避難訓練で受付を終了後、**文化村に移動**していただき、

展示・体験訓練に参加していただきます。



境町文化村全景

体育館：屋内展示・体験会場



駐車場：屋外展示・体験会場

駐車場や会場レイアウトは、参加者数を把握したのちに、

#6全体会議までに作成します。

1 展示・体験訓練内容（調整中）

今後支援の可否を含め関係機関・団体・企業と調整させていただきます。

訓練項目		担任	実施要領	イメージ
炊き出し訓練		陸自102施設 直接支援大隊等 (古河駐屯地) 境町役場 その他	<ul style="list-style-type: none"> 自衛隊の<u>野外炊事具2号</u>及び被災者支援対策部と合同で炊き出しを実施し、<u>訓練参加者※へ配食</u> メニュー：カレーを予定 ※：食数は、参加数確認後決定	
屋外展示・体験訓練	水消火器操作訓練		<ul style="list-style-type: none"> 子供及び女性を主対象として<u>水消火器</u>を使用し、<u>消火器の取扱い</u>、消火器による<u>消火活動</u>を体験 (火は使用しません。) 	
	消防車の展示 消防はしご車 体験	坂東消防署 境分署 消防団	<ul style="list-style-type: none"> 消防車の<u>展示・乗車体験</u>し、子供を主対象に、消防自動車のはしご車の<u>乗車体験</u> 	
	煙体験		<ul style="list-style-type: none"> 煙体験用の幕体内で、<u>実際に火災の煙を疑似体験</u> 	

訓	練 項 目	担 任	実 施 要 領	イメージ
屋外展示・体験訓練	ドローン体験	境町役場等	<ul style="list-style-type: none"> ドローンの操作等の <u>展示説明及び体験</u> 	
	災害用車両の展示		<ul style="list-style-type: none"> LPガスも使用できるハイブリットカーで災害時に<u>非常用電源として使用できる車</u>や、医療用の他、<u>多目的に使用可能なトレーラ</u>等を展示・説明 	
	パトカーの展示	境警察署	<ul style="list-style-type: none"> 警察で使用している<u>パトカーの展示・説明や乗車体験</u>を実施 	
	消防車の展示	消防団	<ul style="list-style-type: none"> 消防で使用している<u>消防自動車の展示・説明や乗車体験</u>を実施 	
	ボランティアセンター開設訓練	境町社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> 災害ボランティアセンターを開設し、<u>災害ボランティアに関する説明や、災害ボランティア登録募集活動</u>等 	

訓練項目	担任	実施要領	イメージ
救命救急訓練	坂東消防署 境分署 消防団 その他	<ul style="list-style-type: none"> ダミーを使用し、心肺蘇生、AEDの取扱いについて体験 	
備蓄品の展示及び試食	境町役場	<ul style="list-style-type: none"> 各避難所で保管している食料、トイレ等各種の備蓄品を展示するとともに試食を実施 	
3Dマップ展示		<p>建物・建築物・地形等のデータと浸水シミュレーション技術を組み合わせ、利根川氾濫時の時間経過による浸水状況を3Dにより可視化</p>	
避難所内施設展示		<p>避難所内に設置する災害用テント、段ボールベットなど宿泊施設を配列し展示</p>	
警察災害活動パネル展示	境警察署	<ul style="list-style-type: none"> 警察による災害派遣の活動状況等についてパネル展示・説明 	

屋内展示・体験訓練

訓 練 項 目	担 任	実 施 要 領	イメージ
自衛隊災害派遣 パネル展示 装備品試着コーナー	自衛隊茨城 地方協力本部	<ul style="list-style-type: none"> 自衛隊の<u>各種災害派遣の活動状況</u>などのパネルを展示 <u>子ども用の自衛隊被服試着</u>・写真撮影 	
自衛隊人命救助 システム展示	陸自102施設 直接支援大隊等 (古河駐屯地)	<ul style="list-style-type: none"> 陸自で装備し、被災地で<u>人命救助のため必要な工具類の種類・取扱い要領を展示・説明</u> 	
段ボールベットの 展示 組立訓練	境 町 役 場 防 災 士 の 会	<ul style="list-style-type: none"> 町で備蓄している<u>段ボールベット及び災害用テントを展示</u> (避難所の設備・備品の一つとして展示) 	
災害用テントの 展示 組立訓練	<u>そ の 他</u>	<ul style="list-style-type: none"> 段ボールベット及び災害用テントの組立要領について展示説明し、<u>希望者は体験</u> 	
防 災 ア プ リ 登 録 会 場	境 町 役 場 企 業	<ul style="list-style-type: none"> 防災アプリの登録を促進するため、<u>登録会場を設定し、高齢者等の登録をお手伝い</u>します 	

屋内展示・体験訓練

2 R7新たな展示・体験訓練内容（案）

訓練項目	担任	実施要領	イメージ
屋外展示・体験訓練 降雨体験車	国土交通省 利根川上流 河川事務所	<p>国土交通省が保有する災害対策用 機材について展示・説明</p> <p>▶ 1時間あたり10mmから大災害 につながる300mmの暴風雨 の恐ろしさを体験</p> <p>① スクリーン映像 ② 音響・風雨を発生</p> <p>▶ 体験者数：7人/1回 体験時間：約5分間</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>整理券を配布し、順番 にご案内します</p> <p>雨具を着用します。 （雨具は町で準備）</p>	   

訓練項目		担任	実施要領	イメージ
展示・体験訓練	27 関東・東北豪雨災害メモリアルパネル展示	境町役場	平成23年の東日本大震災における茨城県の被災状況・対応についてパネルで展示します。	<p>あれから10年 関東・東北豪雨災害</p> <p>展示の構成等が今後具体化</p>
	茨城県災害体験VR (バーチャル体験)		茨城県で保有する災害体験VR (バーチャル) コンテンツ入りヘッドマウントディスプレイ 5台を借用し、被災状況などを仮想体験ができます。 整理券を発行予定 です。	 <p>イメージ</p>
	ミネラルイオン水展示	常ア キ 陸ラ	ミネラルイオン水の 化学反応で有機物を分解処理し、滅菌・消臭 <ul style="list-style-type: none"> ポータブル式：水3ℓ、100ccで約50回（大）： 設置型式：2千ℓ、2ℓ、2千回 	
	電気自動車 (予備電源) 展示	東 プランニング 電	<ul style="list-style-type: none"> 東電プランニングが保有する電気自動車から変圧器により電源を取り出し、電気機器を可動させます。 	<p>今後具体化に向け調整</p>

④ 避難訓練における避難先の指定について

- 1 避難先指定の前提事項
- 2 広域避難時の避難先の指定

1 避難先指定の前提事項

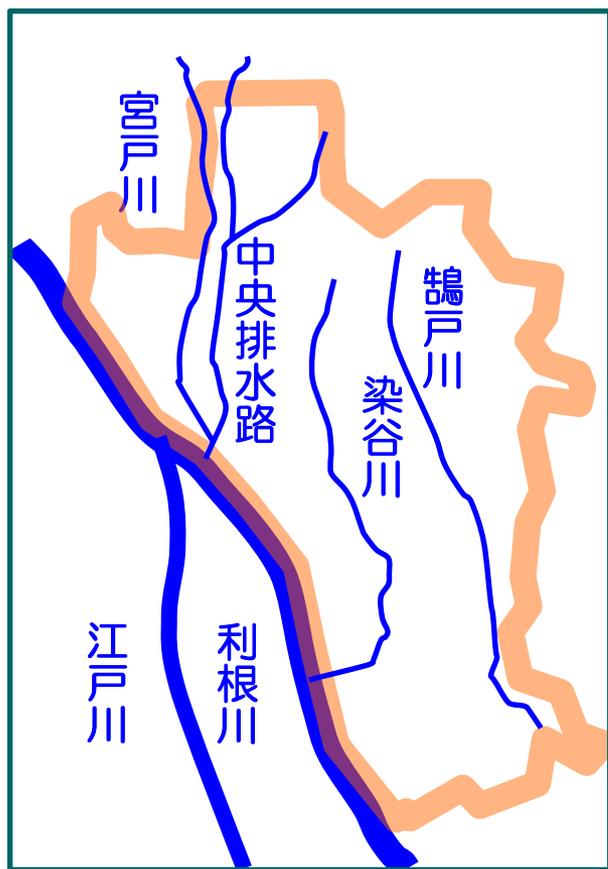
- ① 境町の地勢：防災上（水害）の特性
- ② 町外の緊急避難場所
- ③ 広域避難時の目標とする避難線
- ④ 広域避難における主要幹線道路と避難方向

① 境町の地勢：防災上（水害）の特性

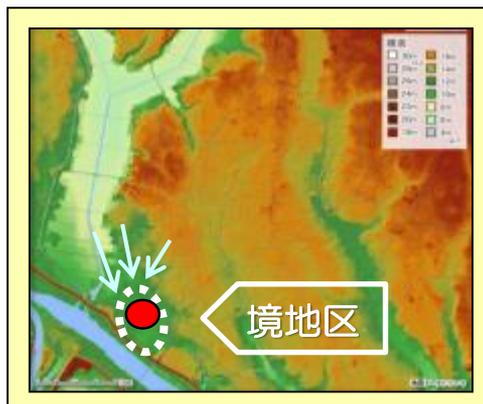
- 1 境地区を中心に水が集中する
- 2 避難方向は東～北東方向
- 3 中小河川が避難方向をさえぎるように存在

特に境地区が孤立する可能性が大

南北に4本の中小河川



役場周辺の特性



標高10～12m程度

周辺から流れ込んだ雨水が役場庁舎の近傍周辺に集中

全体的に東高西低の地形



《参考》 広域避難における避難の焦点

【① 静地区】

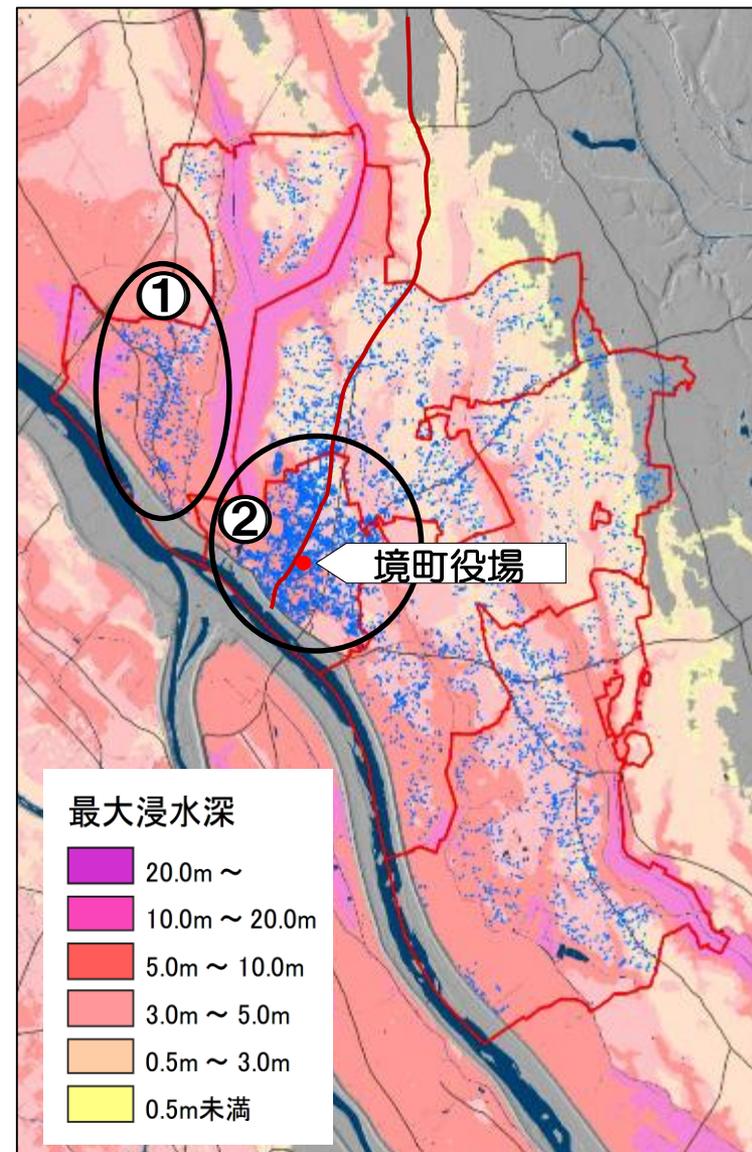
- 1 利根川・渡良瀬川氾濫時は**最初に被災**する可能性が高い
- 2 **長井戸沼（中央排水路）**で東方向への**避難が困難**となり避難は概ね北方向限定

浸水深が深く、特に**塚崎はリスクが高い**ため速やかな避難が必要

【② 境地区】

- 1 境町人口の**約38%が集中し浸水深が深い**
- 2 役場を中心に道路網が発達しているが**避難方向が集中**しやすく渋滞し易い

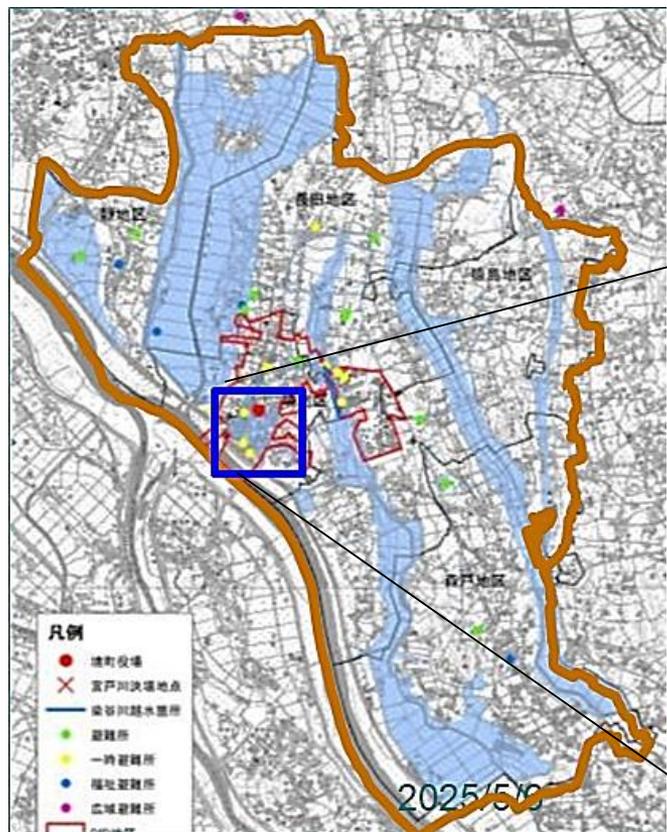
都市下水路など**内水氾濫の可能性が高い**ため速やかな避難が必要



《参考》 27 関東・東北豪雨災害時の内水氾濫状況

約500棟の住宅被害の内、

全体の**約61%（約300棟）**が**境地区**で発生



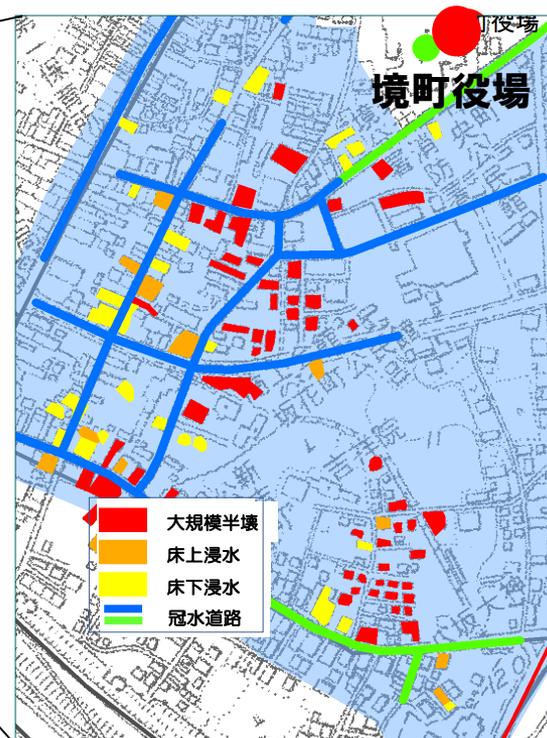
建物被害
中心地／町全体

床上浸水

160棟／全246棟
(大規模半壊90)

床下浸水

139棟／全247棟



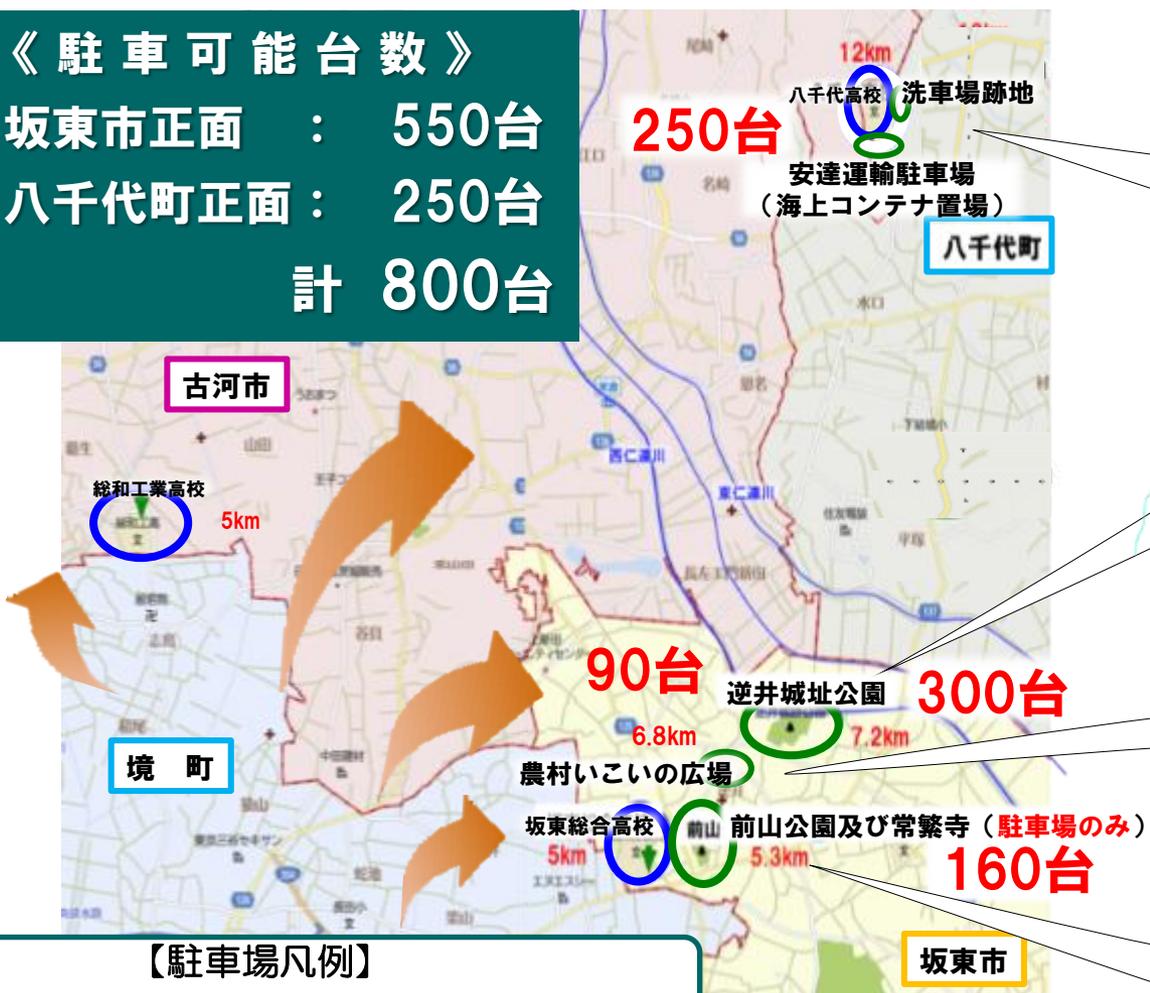
町内34箇所道路が冠水
「中心地は孤立化」

利根川氾濫時は
逃げ遅れ

② 町外の緊急避難場所

町外の緊急避難場所は**坂東・八千代**にあるため、広域避難には**古河方向よりも避難先を確保**できる。

《 駐車可能台数 》
 ▶ 坂東市正面 : 550台
 ▶ 八千代町正面 : 250台
 計 800台



【 駐車場凡例 】
 ○ : 指定広域避難所 □ : 公共駐車場
 ○ : 指定緊急避難場所 ▨ : 民間駐車場

八千代高校隣接

安達運輸駐車場

車 : 約250台
 トイレ : 校内

逆井城址公園

車 : 約300台
 トイレ : 2箇所

農村いこいの広場

車 : 約 90台
 トイレ : 1箇所

②③④ 常繁寺駐車場

① 前山公園

《 ① 前山公園 》
 ・車 : 約 45台
 ・トイレ : 1箇所
 《 ②③④ 常繁寺 》
 ・車 : 約 115台

車 : 約160台
 トイレ : 1箇所

③ 広域避難時の目標とする避難線

**国道4号より
西側は危険**

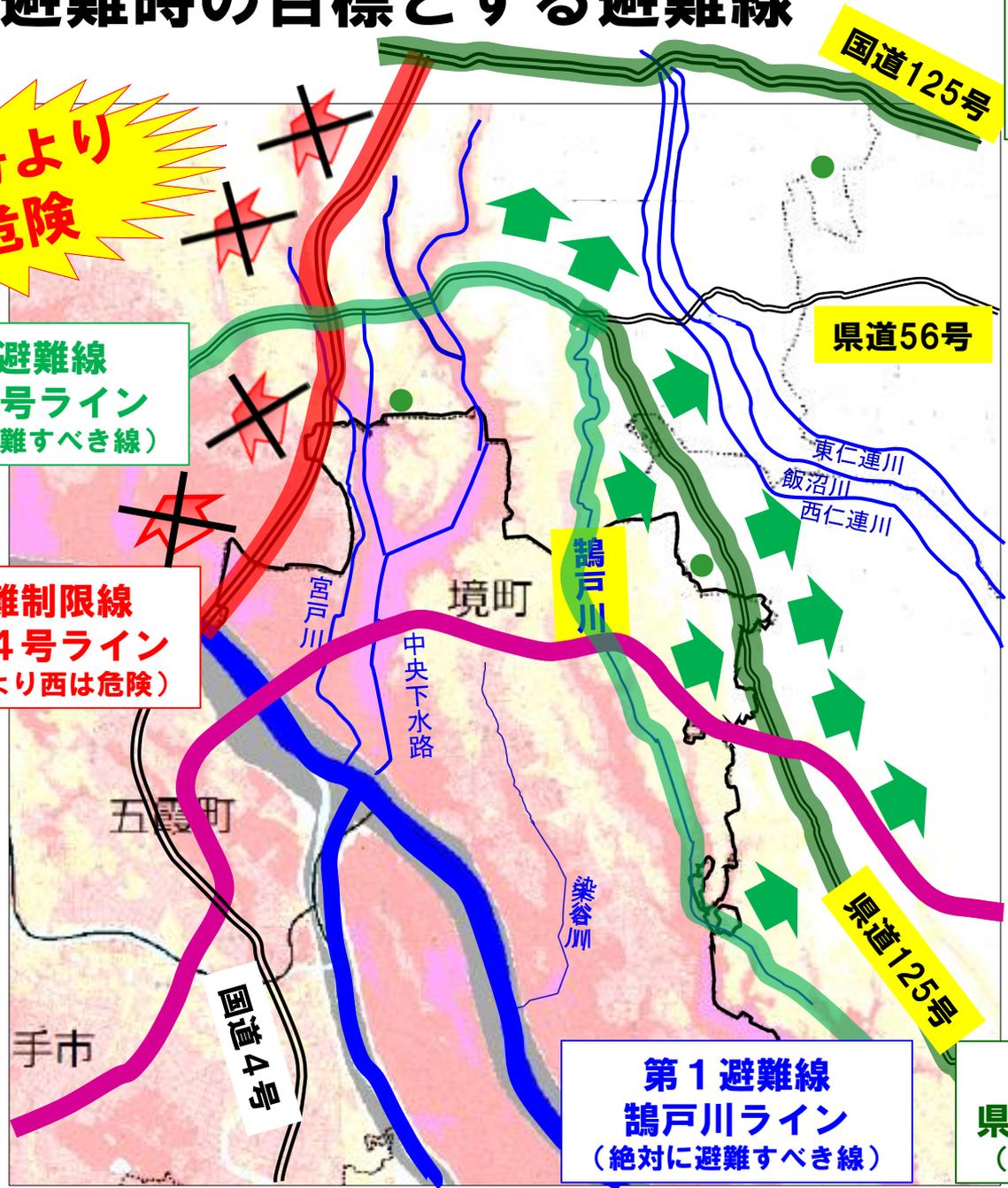
**第1避難線
県道56号ライン
(絶対に避難すべき線)**

**避難制限線
国道4号ライン
(本線より西は危険)**

**第1避難線
鵠戸川ライン
(絶対に避難すべき線)**

**第2避難線
県道125号ライン
(避難が望ましい線)**

**第2避難線
国道125号ライン
(避難が望ましい線)**



④ 広域避難における主要幹線道路と避難方向



八千代町へは、**西仁連川**
等3河川に注意！

北へは主に**県道17号線**

まずは速やかに**東方向**
鶴戸川以东へ避難

静地区は主に
国道4号沿

- 【凡 例】
-  : 主要幹線及び方向
 -  : 幹線道上の橋梁

2 広域避難時の避難先の指定

- ① 避難先指定の考え方
- ② 行政区ごとの避難先の指定（案）

① 避難先指定の考え方

▶ 努めて**同一の広域避難所に避難者が集中**しないように避難先を指定

▶ **中小河川、地形・避難特性**（避難先指定の前提事項、各行政区の避難要領）を踏まえ決定
→ 概ね**県道17号線を基準**に避難方向を区分
西側を北方向、東側を東～北東方向で区分

▶ 努めて**避難時の渋滞を避ける**ため、
① 利根川沿川の行政区を古河、坂東方面
② その他の外縁の行政区を八千代方面

② 行政区ごとの避難先の指定（案）

避難先分散の検証も兼ねています。ご理解の上、ご協力をお願いします！

《総和工業高等学校》

静地区	塚崎一	境地区	上仲町
	塚崎二		上町
	稲尾		住吉町1区
	志鳥		住吉町2区
	横塚		住吉町3区
境	本船町		宮本町
	下仲町		

22%

《八千代高等学校》

長田地区	蛇池	猿島地区	内門本田
	長井戸1区		内門新田
	長井戸2区		山崎南
	猿山	森戸地区	山崎北
	下砂井		伏木北部
	栗山		伏木中部
	西泉田		伏木南部
上小橋		若林蓮台	
猿島	大歩		若林新田
	中大歩		若林本田

垂直避難可能

猿島地区	井草
	七軒
	喜五郎

8%

42%

《元坂東総合高等学校》

境地区	坂花町	境地区	松岡町2区
	新吉町		松岡町3区
	山神町1区	猿島地区	金岡
	山神町2区		浦向
	旭町1区		下小橋
	旭町2区		染谷
	旭町3区	森戸地区	一ノ谷
	陽光台		百戸
	松岡町1区		桐ヶ作・新田

33%

【避難先凡例】

- : 八千代高校
- : 坂東総合跡地
- : 総和工業高校
- : 垂直避難可能
- % : 避難者の割合

